



中国親善旅行

佐土町 丸山 正克

中国訪問記

2002年10月23日から28日まで、豊川市国際交流協会の中国親善旅行に参加し、上海・周庄・青島・天壇公園・十三陵・故宮・八達嶺を訪れました。強烈な印象と私的体感のエキスを報告します。

上海事情

上海では、現在、巨大な新国際空港を建設中です。あたりは雑用地と思われる広大な土地がありながら、どういふ訳か海を埋め立てて空港を建設しているとのこと。ガイドさんは何の飾りつけもないそこの「にいちゃん」という感じ、長髪で長身にジーンズ、ノーネクタイ、紺のブレザーを引っかけていたが、そこから飛び出した日本語は、そんじょそこの日本の若者より正しい日本語でびっくり。

上海の高層ビル



北京の交通マナー

乗り込んだバスは、中国で最も新しいタイプのバスだと説明された。大きなバックミラーが、ウサギの耳のように両サイドにのびきり。なぜ、そうなっているのか、上海の町中を走って納得しました。人・人・人・車・車・車・自転車・自転車・自転車が町中にあふれています。信号機はありますが、それは人のためにあるのではない。車のためにあるのですと、ガイドさんは平然と言ったのけました。中国の交通事情の一端をかいま見たような気がしました。タクシーは、すきあらば猛烈な勢いで割り込んできます。その間を自転車がふらふらと走り、

どこからともなく人が横断を始めます。クラクション鳴らして、追い散らそうとしますが敵もさる者、そんなことには動じません。真ん中に突っ立っています。車が避けて通ってくれるよとはガイドさんの弁。横断しきれない自転車がセンターラインの上をよたよた、車の間隙を見つけて横断開始です。めちゃくちゃだという私の指摘に「あんなことやるのは、田舎から出て来た人だ」。

多分、2004年だと思いますが、万国博覧会が上海で開催されます。そのために上海市は都市整備工事地区と化しています。破壊と建設が隣り合わせ、既に出来た建設物はさながら建設物博覧会の様相でした。

中国庭園

いくつかの中国庭園を見学しました。どこから中国様式が生まれてくるのか、大変興味がありました。私なりにまとめますと、中国風の屋根、白壁、池、曲線、緑、これの絶妙な組み合わせが、中国風を演出しているようです。ことに、白壁と曲線を巧みに生かした窓や出入口、そこを通してみる風景、そこのコントラストに中国風を感じてきました。ちょっと口では説明できないのが残念です。

中国旅愁

周庄は古い中国を代表する水の町です。古い建築物が当時のまま保存されて、多くの観光客が訪れていました。用水路を女船頭の歌声と一緒に巡るひととき、観光客の雑踏の中で中国旅愁をほんのちょっぴり感じてきました。ここで、豚足をいたるところで売っていますが、買う人は一人もいません。あんなにたくさん残ってどうするのだろう。いらぬ心配をしながら、頭の片隅で食べてみたいと言。

中国庭園



周庄の女船頭

あなたの 身近に
「ベストな ひまわり」

ひと・夢・いいね。

 JAひまわり

〒442-8517 豊川市諏訪1丁目1番地
(0533)85-3171



夢の旅へ
出かけよう!!

旅行のお問い合わせ・お申し込みは

JAひまわり 旅行センター

プリオ4F (0533)89-3055
営業時間 / AM10:00 ~ PM7:30

